

アフリカ音楽？と身構える必要全くナシ。熱狂と静寂・・・まさに最上級の癒しの響き!!

ドリス・エル・マルミ [モロッコ]

楽器:Oud (ウード)

中東から北アフリカのモロッコにかけてみられるリュート属の撥弦楽器。リュートや琵琶と近縁であり、半卵形状の共鳴胴を持ち、ネックの先が大きく反っているが、フレットを持たない構造になっている。



3MA (スリー・エム・エー)

2006年に結成された、それぞれがソロでも世界で活躍する3人のアフリカの弦楽器奏者によるトリオ。

西アフリカの国、マリのグリオ(宮廷楽師)の家庭に生まれ、ヴァンサン・セガールやルドヴィコ・エイナウディなどの超一流プレイヤーとのプロジェクトでも活躍するコラ奏者バラケ・シソコ。生まれて間もなく右手の指を失いながらも、マダガスカル伝統的竹製筒ハーブ《ヴァリハ》を極め「マダガスカルのジャンゴ・ラインハルト」の異名をとるラジェリー。そして、ベルベル族の血を引きアラブ文学にも精通するモロッコの達人ウード奏者ドリス・エル・マルミの3人による極上の弦楽アンサンブルは、アフリカ宮廷音楽の優美さ、アフリカ土着の大地の温もり、そしてアフリカのみならず、アラブからジャズまでジャンルを越えたモダンな創造性に溢れ、各メディアからも絶賛されている。



ラジェリー

[マダガスカル]

楽器:Valiha (ヴァリハ)

マダガスカルの伝統楽器。竹筒の回りに弦を張り、両手の爪で弾いて奏でる。その形状と音色から、「竹ハーブ」「筒型ツィター」などとも呼ばれ、マダガスカルの文化ルーツが東南アジアにあることの有力な証拠のひとつとも言われる。

バラケ・シソコ

[マリ]

楽器:Kora (コラ)

ハーブの原型とも言われるマリの伝統楽器。半分に切ったヒョウタンに動物の皮を張り、棹と弦を取り付けている。マリ帝国の宮廷楽師(グリオ)のみが演奏を許され、世襲制で受け継がれている。



宗次ホールへの情報はこちら!

フォローお待ちしております

♪ 随時更新中です

facebook



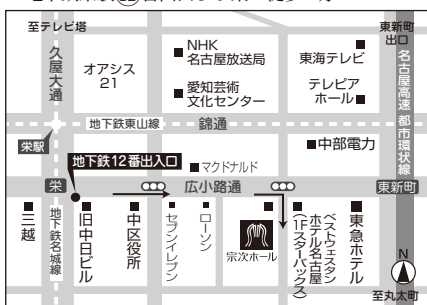
<https://www.facebook.com/munetsuguhall/>



他にも各SNSにて情報発信中!

交通アクセス

地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業